

2023年度寄附（企業版ふるさと納税）による青森県のまち・ひと・しごと創生の主な取組

< あおもり若者定着奨学金返還支援事業 >

■青森県では、若者の県内定着・還流の促進及び産業人財の確保を目的として、本県に定着する若者の奨学金の返還を支援する「あおもり若者定着奨学金返還支援制度」を実施しています。

【企業及び就職予定者の登録募集及び周知・広報の実施】

本制度をより多くの若者や企業等に活用していただくため、就職予定者・企業それぞれに対する制度周知用チラシの作成・配布や、新聞・SNSなどのメディアを活用した各種プロモーションを実施しました。

また、2025年度採用分の登録募集を新たに開始しました。

<あおもり若者定着奨学金返還支援制度の概要>

大学等在学中に奨学金の貸与を受け、卒業又は修了後、対象企業に正規雇用された35歳未満の若者が6年間、県内に住み就業した場合に、県とサポート企業が協力して返還支援を行う制度です。

【2024年度の取組】

引き続き、各種メディア等を活用した周知・広報活動に取り組むとともに、新たに2026年度採用分の募集を開始します。



< アップサイクルビジネス創出事業 >

■本県由来の未利用資源を活用した新たなビジネスの創出を図るため、産学官で構成する「アップサイクルフォーラム」を設立・運営したほか、実証事業の実施・首都圏展示会への出展を通じて、県内企業による新たな事業展開を促進しました。

【アップサイクルフォーラムの運営】

アップサイクルフォーラムを設立し、セミナーや専門家によるコンサルティングを実施しました。
(R5実績) セミナー：3回、専門家派遣：3社

【事業可能性調査の実施】

本県由来の未利用資源を活用したアップサイクルビジネスの事業可能性実証を実施し、実証成果の県内波及を図りました。

(R5実績) 3件

【首都圏展示会への県ブース出展】

県外事業者とのビジネスマッチングを促進するため、エコプロ2023へ県ブースを出展し、県内6事業者が参加しました。

【2024年度の取組】

引き続き、首都圏展示会への県ブース出展を実施するほか、未利用資源の活用手法・加工技術の勉強会及び県内テストマーケティングを実施します。



りんご搾りかすを混合したPVCシート
(株)KOMORU

< 命を守る地域防災活動促進緊急対策事業 >

■災害の発生が想定される区域における自主防災組織の設立と活動促進を市町村とともに重点的に働きかけるとともに、防災活動を地域主導で継続的に推進するための指導者育成に取り組みました。

【洪水浸水想定区域における自主防災組織設立促進緊急対策】

洪水浸水想定区域内で自主防災組織が未設立の地域において、早期設立を促進するための重点啓発・支援を実施しました。令和5年度においては、流域防災研修会を2回、地域防災活動ネットワーク研修会を3回、自主防災体験研修会を11回開催しました。

【地域の防災指導者育成及び自主防災活動の促進】

①男女双方の視点を取り入れた防災対策を実践できる防災リーダーの育成強化のための基礎研修会を実施しました。令和5年度においては、地域防災トレーナー養成基礎研修を1回開催しました。

②市町村や住民が研修の運営・企画をする際の講師派遣等の支援を行いました。令和5年度においては、地域防災活動のフォローアップを2回実施しました。

【2024年度の取組】

本事業は2023年度をもって終了しましたが、引き続き自主防災組織の設立と活動促進に取り組めます。



< 青森県教育改革有識者会議運営費 >

■青森県教育施策の大綱及び教育施策全般にわたる専門的事項について、外部有識者の幅広い見地から助言等を得ることを目的として令和5年度に新たに設置した、青森県教育改革有識者会議の運営等を行っています。

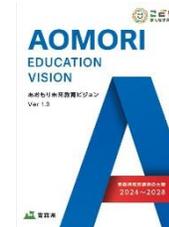
【会議の運営と情報発信】

青森県教育改革有識者会議の開催や県内外の事例調査、教員・保護者向けアンケートの実施に加え、同会議の模様をYouTubeやオウンドメディアnoteを用いて積極的に情報発信しました。

また、同会議からの提言を踏まえて、青森県教育施策の大綱（あおもり未来教育ビジョンVer.1.0）を新たに策定しました。【R5実績】有識者会議開催13回、県内外の事例調査9件、YouTube投稿12本、note投稿41本

【2024年度の取組】

本県がめざす教育の実現に向けた今後の検討課題に対応するため、引き続き同会議の開催や県内外の事例調査、アンケートの実施に加え、積極的な情報発信等を行います。



2023年度寄附（企業版ふるさと納税）による青森県のまち・ひと・しごと創生の主な取組

< 青森港港湾計画の改訂関連事業 >

■青森港の中期計画である港湾計画について、昨今の脱炭素化やクルーズ船増加等、社会経済情勢を反映した内容に変更するため、改訂作業を行っています。

【青森港長期構想検討及び港湾計画変更に係る環境影響評価】

青森港の概ね30年後を見据えた長期構想の策定に向け、有識者等で組織する長期構想検討委員会を開催し検討を進めました。（検討委員会1回、同幹事会2回）
また、長期構想をもとに変更する港湾計画について、改訂後の環境影響を評価するため、大気質、潮流及び海生生物等を確認する現況調査を実施しました。

【2024年度の取組】

23年度の取組成果をもとに、引き続き長期構想の検討を進めるとともに港湾計画の改訂に必要な環境影響評価等の調査を行います。



青森港長期構想検討委員会
第1回委員会・幹事会合同会合

< 風力発電関連事業しごとづくり・人づくり事業 >

■風況に恵まれた本県は、全国でも有数の風力発電の適地であることから、県では、その恵まれたポテンシャルをメンテナンスなどの風力発電関連産業の振興につなげていくため、風力発電関連産業を担う人材の育成に取り組んでいます。

【風力発電施設体験研修】

県内高校生を対象に、県内就職のための進路選択の一助となるような、風力発電に係る体験研修を実施しました。

【R5実績】8校延べ14回340名参加



【2024年度の取組】

引き続き、風力関連産業を担う人材の育成に取り組んでいきます。



< 地域発省エネ・脱炭素技術による産業創出事業 >

■新レアメタル精製技術を活用した関連産業をむつ小川原開発地区で展開するため、事業展開の方策・課題の検討及び事業者への情報発信を行いました。

【関連産業立地に向けた検討】

令和4年度に実施した新レアメタル精製技術関連産業立地可能性調査において整理された方向性について、有識者や関係団体で構成する「検討会」を2回開催し、関連産業の立地に向けた検討を行いました。

【事業者への情報発信】

事業者に新レアメタル精製技術を紹介するためパンフレットを作成し、大規模技術展にブースを出展（関東、関西各1回）するなど、県内外に情報発信を行いました。

【2024年度の取組】

引き続き、大規模技術展にブース出展するなど、県内外に情報発信を行うほか、関連産業立地のための社会実装などの基礎調査を実施します。



< 量子科学技術産業利用促進事業 >

■地元の民間企業等の青森県量子科学センター（QSC）の活用促進に向け、量子科学技術を用いた産業利用事例創出を目的とした取組を行うとともに、次世代の人材の育成を行うほか、県内企業等の産業利用に資する大学等の研究開発を推進しました。

【量子科学技術による産業利用事例の創出】

量子科学技術を用いた産業利用事例創出のための可能性調査で産業利用の可能性が高い取組について、調査を行いました。（R5実績）3件

【次世代の産業利用を担う人材の育成】

県内高校生に対し、量子科学技術の産業利用に係る取組の周知・理解を図りました。（R5実績）1校

【県内企業等の産業利用に資する研究開発】

これまで実施してきた各種研究開発や県内企業等の産業利用に資する取組について、委託研究を実施しました。（R5実績）3件

【2024年度の取組】

産業利用事例創出の具体化を進めるとともに、県内企業等のQSCを活用した産業利用に資する重要な取組について、引き続き委託研究を実施します。

